

汽車通学

1月1日の地震で、大きな被害を受け運休していたのと鉄道ですが、2月15日に七尾駅から能登中島駅間が再開、そして4月6日に穴水駅までの全線で運行を再開できました。運行再開にご尽力いただきました、JR西日本、石川県そしてのと鉄道従業員の皆様には感謝と敬意を表します。

先日、そののと鉄道に乗車しました。私の高校3年間は、まだJR七尾線として運行されていた汽車に乗って通学しました。汽車通学は高校時代の良き思い出です。夏は6時半発の汽車に乗るのに、自宅を10分前に出発し、猛スピードで駅まで自転車漕ぎ、発車直前に乗り込む毎日でした。いつも車内は行商のおばちゃんたちの持ち込んだ魚の匂いがしていました。穴水駅から七尾駅の間は約50分、そんな汽車に乗っての行き帰りは、友達としゃべったり、本を読んだり、お菓子を食べたり、車窓を眺めボーっとしたり、居眠りをしたり……。試験期間中の朝は、この汽車の中が貴重な試験勉強時間でした。この50分間をいかに集中して詰め込むかが試験の出来を左右しました。当時はこの七尾線を通勤通学で利用されている方がたくさんいて、朝穴水駅を出発して、七尾駅に着く頃には満員で通路に乗客が溢れていました。今とは随分様子が違っていた記憶があります。

今回の地震で、穴水駅舎やのと鉄道本社屋が大きな被害となりました。現在、建て替えを含めた復旧復興について関係機関と話し合いを行っております。穴水町は鉄道の終着駅、そして奥能登の玄関口。今こそ能登の復興の為に、穴水町の地理的に果たせる役割があるのではないか、そんな思いを持っています。これから様々な方々のご意見を伺いながら、多くの方が集える駅、訪れたいと思える駅、また来なくなる駅になるように町としても取り組んで参ります。